

# スポーツ推進委員の 効果的な活動方法を巡って

桐蔭横浜大学 渋谷ゼミ Aチーム

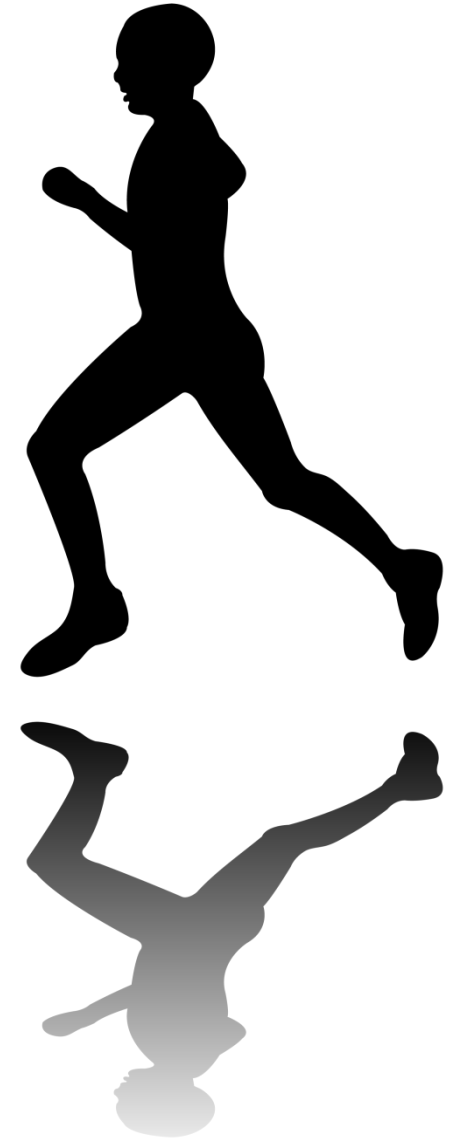
本村 彩花 遠藤 颯 中野渡 航輝 永田 晴紀 吉原 直矢



桐蔭横浜大学  
Toin University of Yokohama

# 目次

- ▶ 緒言
- ▶ 現状と課題
- ▶ 政策提言
- ▶ 期待される効果
- ▶ まとめ
- ▶ 今後の課題



初めに…

皆様に質問があります！

『スポーツ推進委員』

という方々をご存知ですか？

# スポーツ推進委員とは

## 緒言

各地域のスポーツ推進のため、  
地域住民と行政との仲介役になり、  
地域住民に密着して  
スポーツ推進活動を行う組織。

平成23年法律第78号 スポーツ基本法

# スポーツ推進委員とは？

## 緒言

### 【活動内容】

- ・地域のスポーツイベント企画会議への出席
- ・地域のスポーツイベントの運営
- ・総合型地域スポーツクラブ等でスポーツの実技指導



皆さんが住んでいる  
地域のスポーツ推進に  
関わっています！！

# スポーツ推進委員とは？

▶ 全国に**51048**人 登録！

出典：スポーツ推進委員加入状況（2016）

▶ スポーツ推進委員一人当たりの報酬額（年収）

全国平均：**46,011**円（地域によって様々である）

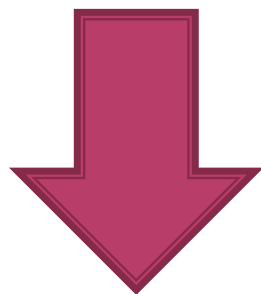
出典：文部科学省（2014）

2つ目の質問です！

皆様は  
自分が住んでいる地域の  
スポーツ推進委員が行っている

活動をご存知でしょうか？

多くの国民はスポーツ推進委員を  
どうして知らないのか？



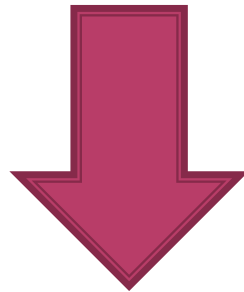
「スポーツ推進委員が上手く  
機能していないorできていない？」



# 目的(仮説)

## 緒言

ではなぜ、機能していないのか？



- ①「地域スポーツの推進を行える能力を持った適任者が選ばれていない」
- ②「活動を行うことができない『阻害要因』が存在する」**そこで！**

## 目的

この二つの課題に対し **支援策を提案！！**

**スポーツ推進委員が  
効果的に活動できる環境を  
目指します！！**

# 研究方法

## 【インタビュー】

調査対象: 全国スポーツ推進委員連合専務理事1名

調査時期: 8月上旬

調査内容: スポーツ推進委員の実態調査

調査対象: N県M市 生涯スポーツ係1名

調査時期: 9月中旬

調査内容: スポーツ推進委員の実態調査

# 研究方法

## 【質問紙調査】

調査対象：2つの自治体のスポーツ推進委員  
(男性53名,女性49名,無記名11名:計113名)

調査時期：9月中旬

調査内容：スポーツ推進委員の実態調査

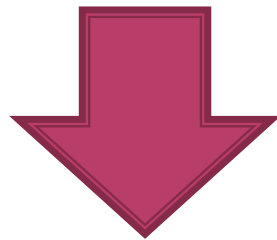
# インタビュー調査

～全国スポーツ推進委員連合専務理事～

現状

Q. スポーツ推進委員に今後期待される役割は何だと思いますか？

A. 【スポーツの実技指導の専門家が増えている】



「地域住民と行政の仲介役になること、

つまり『**連絡調整**』の役割が期待される」

# 連絡調整とは？

スポーツの推進のための事業の実施に係るもの

(平成23年法律第78号 スポーツ基本法)

## 連絡調整

- ・地域住民と行政との仲介役になり、地域住民の声を行政に届けること。
- ・他のスポーツ関連組織や事業との連携を図り、スポーツ推進を行うこと。

# インタビュー調査 ～N県M市生涯スポーツ課～

現状

Q.「現在行っている連絡調整はどのようなことが  
挙げられますか？」

A.「スポーツイベントに参加している地域住民との関りし  
がなく、要望等は聞いていない」



行政と地域住民の**仲介役**という  
役割は果たせていない！！



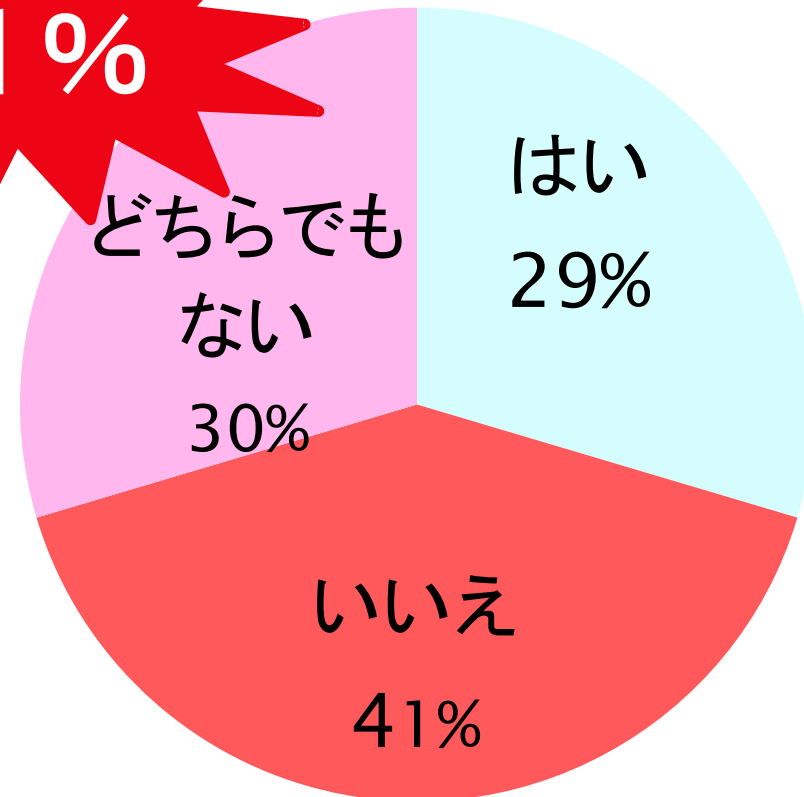
# 質問紙調査

## ～スポーツ推進委員①～

現状

Q.「スポーツ推進委員に希望してなりましたか？」

71%



### ★考察★

希望していない人が  
スポーツ推進委員に  
選ばれている。



# 質問紙調査

## ～スポーツ推進委員②～

現状

Q「スポーツ推進委員の頻度」

→月に数回(83名:86.5%)

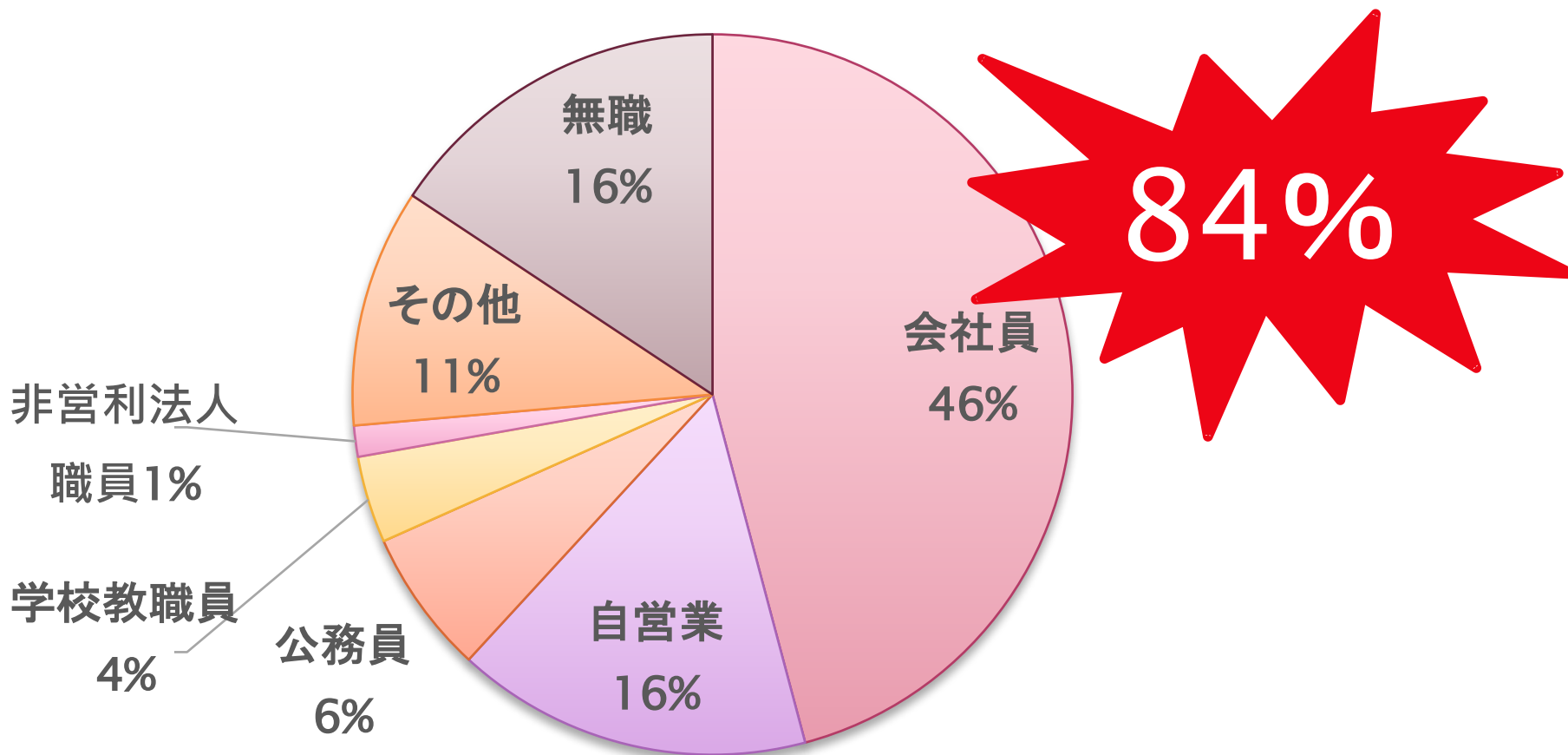


この回答に対して.....

「行事が多すぎる」「活動がきつい」

他に本職があるため、  
負担に感じてしまっているのではないか。

# 全国のスポーツ推進委員の本職



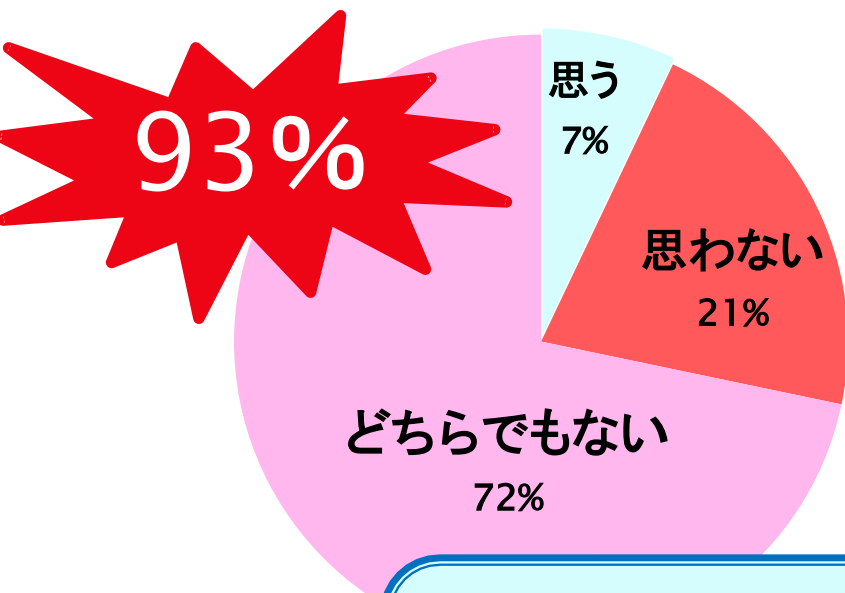
平成27年4月 地域スポーツに関する基礎データ集(文部科学省)

# 質問紙調査

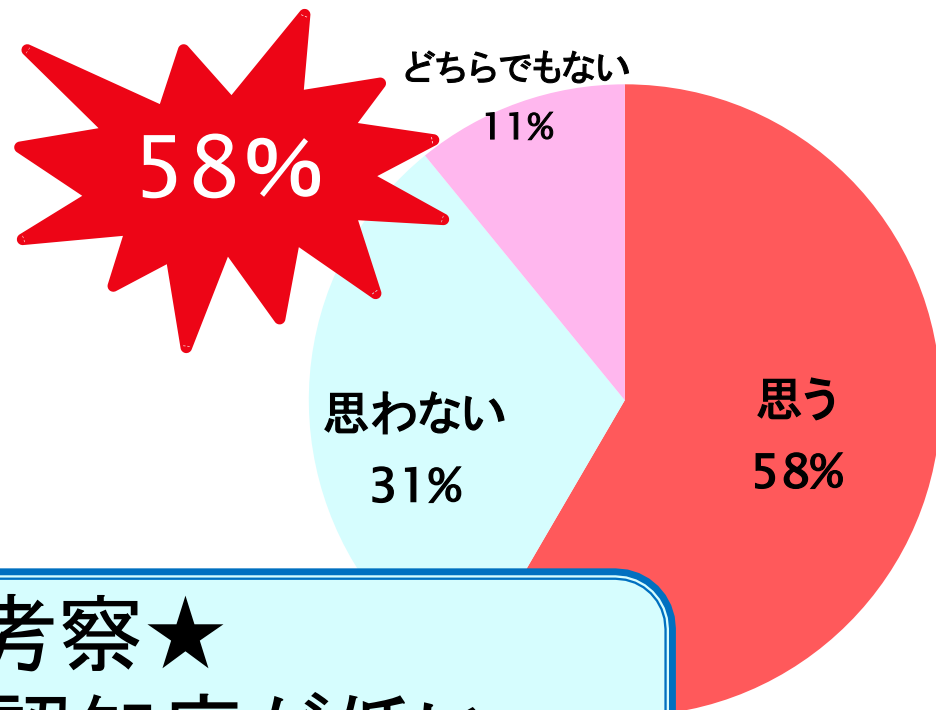
## ～スポーツ推進委員③～

現状

Q.「本市におけるスポーツ  
推進委員の認知度は高いか」



Q.「認知度を上げる  
必要性があるか」



★考察★

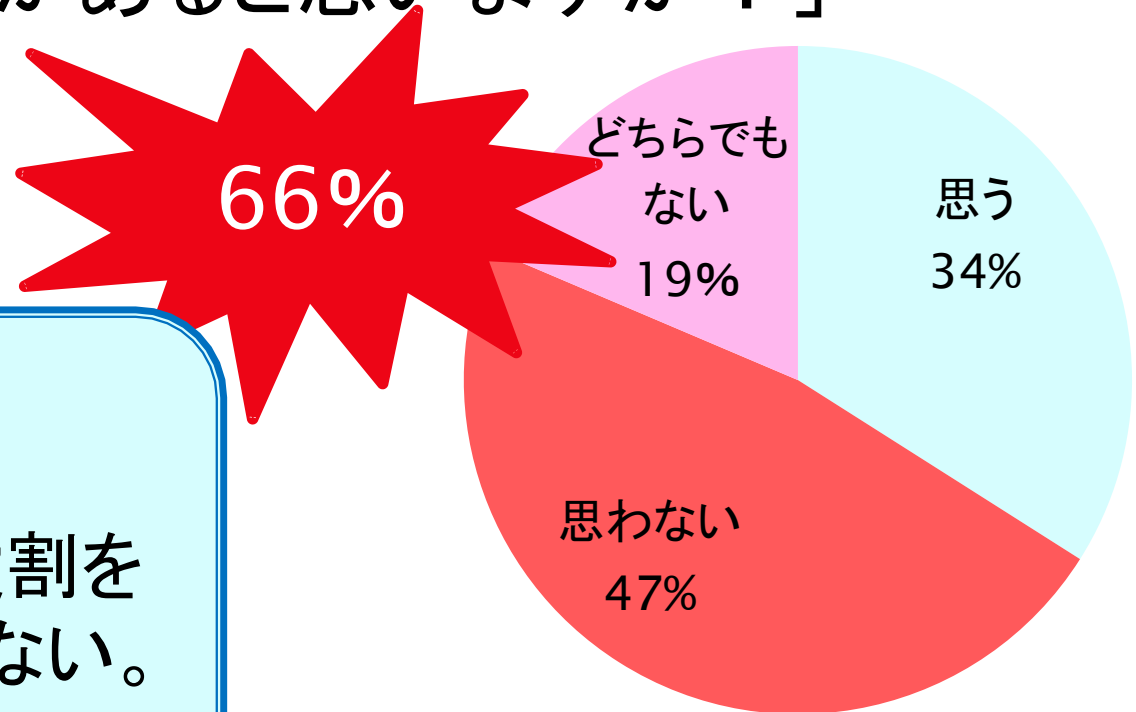
地域住民の認知度が低い。  
認知度を上げる必要がある。

# 質問紙調査

## ～スポーツ推進委員④～

現状

Q.「現在よりも他のスポーツ関連組織や事業との連携を図る必要があると思いますか？」



66%

★考察★

連絡調整という役割を重要だと思っていない。

# 調査結果のまとめ

現状

## 【見えてきた課題】

- ▶「本職があるため**負担が多い**」
- ▶「連絡調整の**仕組みが定着していない**」  
(地域住民の声を聞く機会が少ない)
- ▶「地域住民からの**認知度の低さ**」

**そこで！！**

# 「地域住民・学生へ ボランティア要請」



## 地域住民

内容：ボランティアの  
イベントスタッフを募集する

## 学生

内容：スポーツイベントの  
企画・運営が体験できる  
ボランティアを募集する



# 地域住民へのボランティア要請





# 地域住民へのボランティア要請

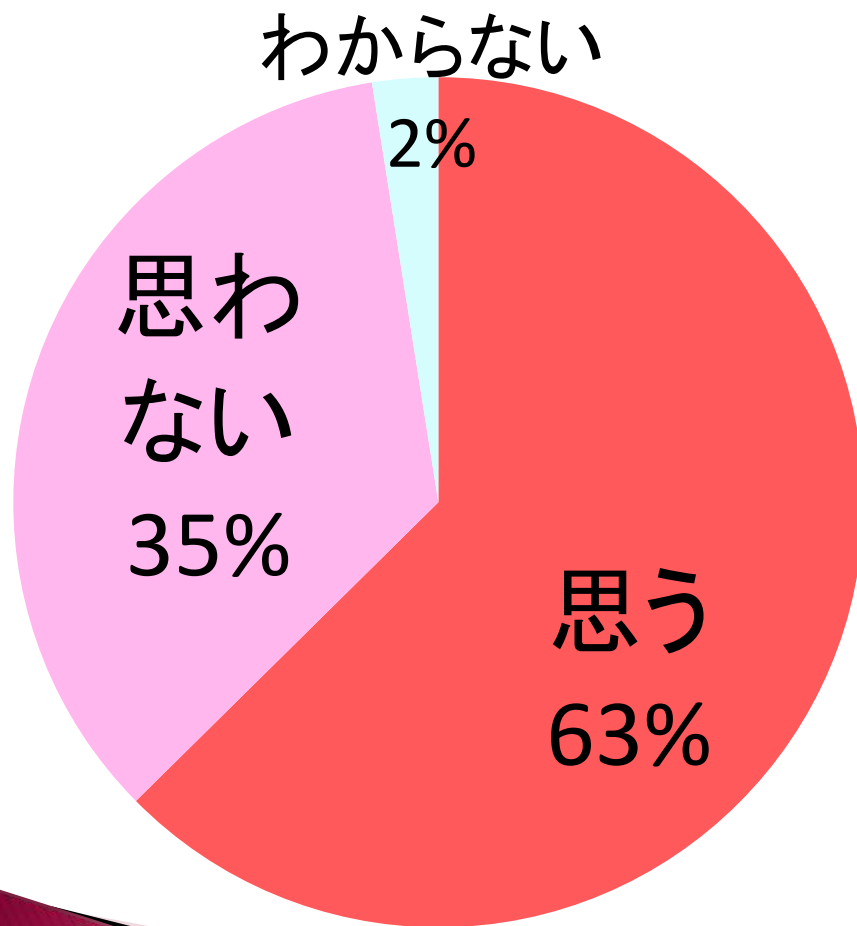
提言



- ・活動内容やイベントの告知
- ・地域住民の要望

募集方法：地域新聞の折り込みチラシ、回覧板、SNS、口コミ等

# 「何か社会のために役立ちたいですか？」



★考察  
地域住民は  
ボランティア活動に  
参加したい！！  
スポーツ推進委員が  
募集すれば参加する！

# スポーツ推進委員のメリット

効果

イベントスタッフ  
増加

負担軽減

認知度向上

スポーツ推進委員  
を知ってもらえる

# 地域住民のメリット

効果

地域住民  
との  
つながり

ボランティア  
の  
機会

仲間

充実感

地域コミュニティの  
活性化

A silhouette of a woman's head and shoulders in profile, looking towards the right. The background is a soft, out-of-focus sunset over a body of water, with warm orange and yellow tones. The woman's hair is pulled back, and she appears to be wearing a dark top.

大学生対象

「スポーツイベント企画・運営の  
体験ボランティア」

## スポーツ推進委員

- ▶ 参加者の募集(ポスター作成)
- ▶ 施設・用具の準備
- ▶ スポーツイベントの企画
- ▶ 当日の準備
- ▶ スポーツイベントの運営
- ▶ 施設・用具の片づけ
- ▶ イベント振り返り

### 〈学生ボランティアの準備〉

- ・ボランティアの企画
- ・大学生に募集(ポスター・SNS)
- ・大学生に助言(場の提供)

## 大学生

- ▶ 各自企画案の作成
- ▶ **スポーツイベントの企画  
(全体で話し合い)**
- ▶ **当日の準備**
- ▶ **スポーツイベントの運営**
- ▶ **施設・用具の片づけ**
- ▶ イベント振り返り
- ▶ 「地域の声BOX」の設置

## スポーツ推進委員

- ▶ 参加者の募集(ポスター作成)
- ▶ 施設・用具の準備
- ▶ スポーツイベントの企画
- ▶ 当日の準備
- ▶ スポーツイベントの運営
- ▶ 施設・用具の片づけ
- ▶ イベント振り返り

### 〈学生ボランティアの準備〉

- ・ボランティアの企画
- ・大学生に募集(ポスター・SNS)
- ・大学生に助言(場の提供)

## 大学生

- ▶ 各自企画案の作成
- ▶ スポーツイベントの企画  
(全体で話し合い)
- ▶ 当日の準備
- ▶ スポーツイベントの運営
- ▶ 施設・用具の片づけ
- ▶ イベント振り返り
- ▶ 「地域の声BOX」の設置

負担軽減

# スポーツ推進委員のメリット

効果

仕事量  
減少

負担軽減

後継者確保

スポーツ推進委員  
を知ってもらえる



# 学生のメリット

効果

指導力

企画力

企画・運営  
体験

協調性

仲間

学生のメリットも多い

# 「ボランティアをしたい学生はいるのか？」

Q「もし地域の人々にスポーツを推進するボランティアに参加する機会があったら参加しますか？」

K県私立T大学2～4年生(9月26日)(男性120名,女性52名:計172名)

→「参加したい(141名,82.0%)」

学生はボランティアの機会があれば  
参加する！

# 企画されたイベントでのメリット

まとめ

スポーツ推進委員

負担軽減

学生ボランティア

民意の反映

運動機会

大学生

運動機会

親子・高齢者

指導経験

# 課題改善までの流れ

まとめ

地域住民との  
関わりが増える!



認知度 UP!

スポーツ推進委員  
ボランティアスタッフ  
大学生



評価・要望

見えてきた課題

②認知度が低い

③地域住民の声を聞く機会が少ない

課題改善!

# PDCAサイクル

まとめ



# 地域住民の方々に

「スポーツを実施する機会」



「スポーツを通して  
地域住民が関わり合う機会」



# 今後の課題

- ▶「選任の仕方」
- ▶「報酬について」
- ▶「本業との兼ね合いについて」
- ▶「障害者スポーツの推進」

これらの課題が改善し、  
今後のスポーツ推進委員の  
活動に期待します。



# 参考文献

- ▶ 平成27年4月 地域スポーツに関する基礎データ集  
(文部科学省)
- ▶ 「今後の地域スポーツの推進方策に関する提言」  
(平成27年6月30日今後の地域スポーツ推進体制の  
在り方に関する有識者会議)



ご清聴ありがとうございました。